



インジェクタ

Sunfab インジェクタ K-JET 2 は閉回路システムにおいて作動油を再循環させるため、高いコストパフォーマンスをと軽量化を実現します。

3種類の K-JET 2 は流量 160, 250 および 350 l/min に対応しています。

K-JET 2 はインジェクタとして作動油を循環させ、メイン回路と冷却およびフィルタ回路用として、クーリングポンプの油漏れ損失の補償用としても機能します。

K-JET 2 も送り圧力を若干昇圧させることで、自吸によるポンプ速度を使用することより、大幅に高いポンプ速度に対応できます。

吐出ポンプを含む油圧システムは外部に排出するためのポンプが必要です。Sunfab ポンプ SAP DIN Optimised 外部ドレン付きはこれらの要求に適合し、K-JET 2 を使用したアプリケーションに推奨されます。

K-JET 2 は可動部がないため、完全にメンテナンスフリーです。

オープン回路と比較した K-JET 2 の利点:

- タンクサイズと作動油量を低減 (メインポンプの15-20%)
- タンク小型化によるシステムの軽量化
- 作動油コストの低減
- 高速回転ポンプに対応

機能

Sunfab K-JET2にはインジェクターが内蔵され、リターンフローがポートRに導かれ、インジェクターを通ると、流れの約10%がポートAを通ります。ポンプと油圧モーターからの流れとリーク流れはオイルタンクに戻ります。

新しい作動油はポートNを通じてタンクから吸引され、インジェクタの流れと合流します。余分な作動油がAへ流れることでポートZでの出口側の圧力が維持されます。加圧された流量はポンプの吸引ラインに入ります。

この作動原理は油圧モータ細動時の閉回路システムにおいて以下の利点があります。

- オイルタンクの減用化
- 必要差分の作動油を供給
- 内部漏れした作動油を補完
- 加圧された吐出流量 (供給圧力) により、自吸式速度よりも大幅に高いポンプ速度が可能

インジェクタの選定

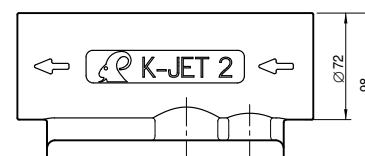
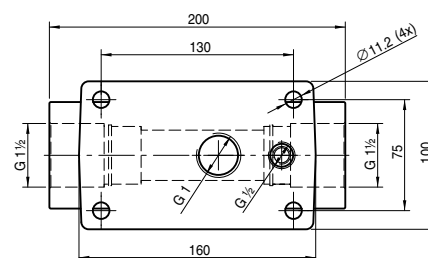
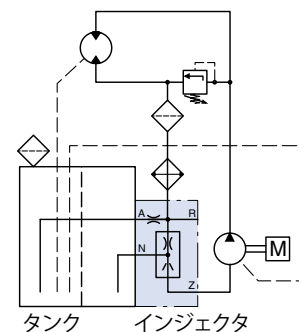
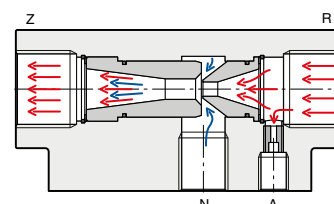
Sunfab K-JET 2は 最大流量160, 250または350 L/minの3種類があります。

T図は作動油の流れの機能として、K-JET 2インジェクタ使用時の圧力を表しています。流量が増加するとポンプの仕様に合わせて圧力が上昇します。

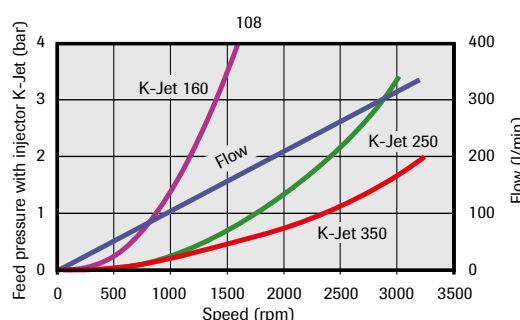
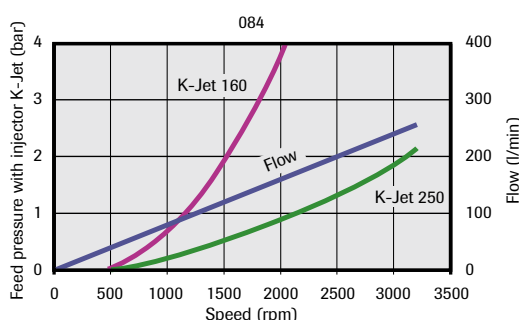
タンクサイズ

タンクサイズは、作動油が排出されている時に全量が1.5~2分以内に戻る量で選択できます。

インジェクタからの流量の10%がタンクに戻り、モーターとポンプからの漏れ流量が正常である場合、タンクの容量は、ポンプの流量 L/minの15~20%と想定されます。ほとんどの用途はオイルクーラーが必要になります。



SAP 084, 108 DIN 高回転タイプ+外部ドレン	084				108			
	without	160	250		without	160	250	350
K-Jet 2								
Oil flow at 97% vol. efficiency and 200 bar	rpm	l/min			l/min			
	500	41	-	-	52	52	-	-
	1000	81	81	-	105	105	105	-
	1500	122	122	122	157	157	157	157
	2000		162	162			210	210
	2500			203			262	262
	3000			243				314
Displacement	cm ³ /rev	83.6			108.0			
Max pump speed								
min continuous	rpm	300	750	1200	300	550	1000	1200
max continuous		1800	2000	3000	1800	1500	2500	3000
max limited		2300			2300			
Max working pressure	bar	400			400			
Weight	kg	13.9			13.9			
Tare-weight torque (M)	Nm	18.5			18.5			
Direction of rotation		Left (L) or Right (R)						



Threaded suction connection with feed pressure above 4 bar.